



みずほ

市議会だより

サンコーパレットパーク 芝生広場オープン!

★Contents★

- 2 新たな議会構成決まる
- 4 議案をチエツク!
- 6 議案の審議結果
- 7 一般質問
- 14 議会基本条例推進特別委員会
- 15 議会活性化の今とこれから
- 16 表紙撮影の裏側

令和4年第2回定例会 (6月2日~24日)

新たな議会構成が決定
条例の改正、補正予算可決
二元代表制の尊重を求める決議可決

中間報告

新たな議会構成決まる

6月2日、令和4年第2回定例会において、新議長・副議長が選任され、議会運営委員会、3つの常任委員会（総務委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会）の構成が決まりました。

議長選挙

2名の議員が議長選挙に対して所信表明を行ったあと、選挙により議長を決定しました。

投票結果	若井千尋	16票
	関谷守彦	1票
	無効票	1票



議長
若井 千尋

令和4年第2回定例会において、議長の大任を拝しました。その責務の大きさに身の引き締まる思いでいっぱいですが、中立公正の立場で、4期14年の経験をもとに議員が市民の範となり得るよう、議会の秩序を守り、魅力あるまちづくりに貢献をして参る決意です。

コロナ禍のその先を見据え、市民の皆様の安全・安心の暮らしの為に、執行部局と緊張感を持ち、議会のあるべき姿のために、必要なりーダーシップを発揮して参ります。

副議長選挙

1名の議員が副議長選挙に対して所信表明を行ったあと、選挙により副議長を決定しました。

投票結果	松野貴志	10票
	無効票	8票



副議長
松野 貴志

合併以来、歴代最年少副議長と聞き驚きとともに、これまで以上に市民の皆様のためを尽くす所存です。新型コロナウイルス感染症対策に自身の専門性を生かし医療体制、福祉向上に努め、ロシアによるウクライナ侵略戦争により高騰する物価対策、人道支援を検討し、早期に実施できる議会運営を議長と努めていきます。

「小さな声を、聴く力」「地域の声を、届ける力」を自らに課し、高齢者から子供まで住みよい街を作り上げ、若者が活躍できる瑞穂市にしていきます。

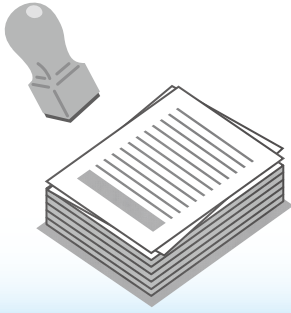
議会運営委員会



委員長 副委員長
 関谷守彦 森 清一 馬淵ひろし
 ◎藤橋礼治 ○広瀬守克

【所管事項】

議会の会期日程や議案・請願などの取り扱い、議長の諮問事項などについて協議



総務委員会



委員長 副委員長
 棚橋敏明 松野貴志 若原達夫
 広瀬武雄 ◎庄田昭人 ○森 清一

【所管事項】

企画部、総務部、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会並びに他の常任委員会の所管に属さない事項についての審査

【継続調査】

- ① 新庁舎と穂積駅拠点化構想について
- ② 防災について

産業建設委員会



委員長 副委員長
 広瀬守克 藤橋直樹 若井千尋
 藤橋礼治 ◎若園五朗 ○今木啓一郎

【所管事項】

都市整備部、環境水道部、農業委員会の所管に属する事項についての審査

【継続調査】

- ① 賑わいの創出について
- ② ごみの減量化について

文教厚生委員会



委員長 副委員長
 松野藤四郎 関谷守彦 馬淵ひろし
 杉原克巳 ◎森 健治 ○北川静男

【所管事項】

市民部、健康福祉部、巢南庁舎管理部、教育委員会の所管に属する事項についての審査

【継続調査】

- ① 人口増加地域における子育て施策について
- ② 食育を通じた感染症に強い体づくり
- ③ 高齢者の移動手段について

◎ = 委員長 ○ = 副委員長 名前は写真左上から掲載しています

令和4年第2回定例会

コロナ関連 収入が減少した方への支援策

国保税の減免期間を延長

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した被保険者等に係る国保税の減免期間が1年延長されます。

【議案第41号 条例の改正】

Q 減免の内容は変わらずか。また、収入については、自己申告になるのか。

A 減免の内容は変わらずである。また、自己申告により手続きをとらせていただいている。

Q 「感染症の影響により一定程度収入が下がった方々等に対して」の一定程度とは。

A 令和4年の見込みで前年から30%下がった場合である。

行政改革 持続可能な行財政運営を目指す

第四次瑞穂市行政改革大綱を策定

「持続可能な都市経営のまち」を目指し、財政の健全化の推進、人材育成と組織強化、事務事業の見直しと効果的な行政サービス、また公有資産マネジメントを重点目標とし、施策・事業を推進していきます。

【議案第36号 事件議決】

Q 今回、「市民参加と協働のまちづくりの推進」が重点項目から削除されたのはなぜか。

A まちづくり基本条例において市民参画や協働などの市における自治のあり方の基本事項について審議、推進しているため第四次行政改革大綱からは割愛している。

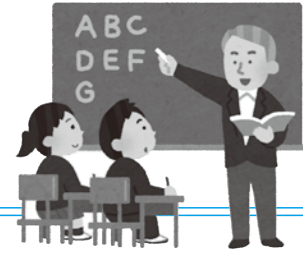


教育 安定的な英語教育のために

ALTの長期契約

外国語指導助手（ALT）の安定的な学校等への派遣のため、派遣業務の委託契約期間を3年以内としました。

【議案第42号 条例の改正】



Q ALTの評価が低かったときのフォローは。また、指導助手として適しているかの確認はどうやっているのか。

A 市と契約業者と連携を図り、ALT自身の評価などを共有しながら質の高いALTを確保できるよう業者に依頼している。

ALTの評価・確認は実際に市の担当者と各学校の代表と複数で授業を見合い行っている。

議案をチエック!

議会で審査・審議しました!

人事案件	1件
条例の改正	3件
補正予算	4件
事件議決	4件
議員提出	1件

地方創生・都市整備 JAぎふ穂積支店跡地の活用

駅周辺の整備

JAぎふ穂積支店跡地において、にぎわい創出の施設整備をするほか、一般車乗降場等の暫定整備を行います。

活用計画(案)

- ・キッチンカー出店スペース
- ・サテライトオフィス・キャンパス
- ・市PRブース
- ・チャレンジショップ 等

【議案第43号 一般会計補正予算】

Q 跡地の整備とともに、入り口となる前面の道路を整備することによって、駅前交通の流れが良くなると考えるが。

A 区画整理事業を考えている。将来の駅前開発の工事を見据えて、今できる最小限の対策を考えていきたい。

経済対策 原油価格・物価高騰対策支援

水道基本料金を免除

市内で水道給水契約をしている方を対象に、6か月分の水道料金の基本料金を免除します。

免除期間

令和4年度9月・11月・1月請求分

【議案第45号 一般会計補正予算】

【議案第46号 水道事業会計補正予算】

Q この支援策が決定した経緯は。

A 各関係部署においていろいろな支援策を検討してきたが、市民の方の経済的な負担の軽減を図るということで決定した。



子育て支援 乳児子育て世帯へ向けた支援策

乳児用品等の購入を支援

乳児子育て世帯を対象に、乳児用品等の購入に使えるかきりん振興券10,000円分を配布し、経済的な負担を軽減します。

【議案第45号 一般会計補正予算】

Q かきりん振興券を配布する経費の内訳は。

A 消耗品に10万円、印刷製本費に50万円、通信運搬費に52万円、行政事務委託（アウトソーシング）に70万円、扶助費（地域振興券）に500万円である。

Q アウトソーシングの内容は。

A チラシの印刷や宛名シールを貼る作業、封入封緘等である。



令和4年第2回定例会 議案の審議結果

議員名（会派別） （◎は会派代表者）	議決結果	新生クラブ					創緑会					立	み	共	無	議決月日				
		◎若井千尋	◎松野貴志	藤橋礼治	若園五朗	広瀬武雄	棚橋敏明	馬淵ひろし	◎広瀬守克	森清一	森健治						北川静男	若原達夫	藤橋直樹	◎松野藤四郎
議員・委員会 提出議案 議案第3号 二元代表制の尊重を求める決議	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/24
市長提出議案 議案第35号 瑞穂市教育委員会の委員の任命について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/2
議案第36号 第四次瑞穂市行政改革大綱について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	6/24
議案第37号 瑞穂市立中小学校校舎大規模改造（老朽）工事請負契約の締結について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/2
議案第38号 瑞穂市立穂積中学校屋外運動場改修工事請負契約の締結について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/2
議案第39号 財産（消防ポンプ自動車）の取得について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/2
議案第40号 瑞穂市税条例等の一部を改正する条例について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/24
議案第41号 瑞穂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/24
議案第42号 瑞穂市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/24
議案第43号 令和4年度瑞穂市一般会計補正予算（第2号）	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/2
議案第44号 令和4年度瑞穂市一般会計補正予算（第3号）	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/24
議案第45号 令和4年度瑞穂市一般会計補正予算（第4号）	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/24
議案第46号 令和4年度瑞穂市水道事業会計補正予算（第2号）	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/24

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、棄…棄権、除…除斥、立…立憲民主党、公…公明党、み…みずほ令和の会、共…日本共産党、無…無会派
議長は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。（議長 若井千尋）



二元代表制の尊重を求める決議

議員提出 議案を慎重かつ適切に審議できるような提出方法を

《要旨》

瑞穂市議会基本条例には、「市議会と市長は、市民の意思を代弁する二元代表制の機関であり、それぞれの特性を活かして、互いに競い合い、協力しながら、市政を担う両輪として市民の負託に応える責務がある。市長は、市政運営の最高責任者として予算、条例等を提案する強力な権限を有しているが、議会は、提案された予算、条例等が市民福祉の向上に繋がるかを市民の目線にたって審議し、監視しなければならない。」とある。

しかし、今回の議案第45号瑞穂市一般会計補正予算（第4号）ならびに議案第46号瑞穂市水道事業会計補正予算（第2号）においても、予定していた委員会審査が終了した後の最終日に追加上程された。

したがって、市長におかれては、議会基本条例に規定する二元代表制の趣旨をしっかりと認識し、議会が議案を慎重かつ適切に審議できるような提出方法に取り組みされるよう再度強く要望する。



マスク着用に関する国からの通知の内容は



企画部長

夏場では、熱中症防止の観点から、マスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨する



馬淵ひろし議員

Q マスク着用による健康被害は。

A 高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、体に負担がかかることがある。特に子どものマスク着用については、集中力の低下や頭痛、いらいらなどの心理的ダメージ、顔色や表情の変化が分かりづらいなどの発達に関することなど多くの事例が挙げられている。

Q 特に子どもたちのマスク着用による熱中症を防ぐ対策は。

A 夏季を迎えるに当たり、これまでの基本的な感染防止対策を行いつつ、人との距離や活動内容、活動場所、気温や湿度の状況等に注意しながら対応する。
(教育長)

	身体的距離(※)が確保できる ※2m以上を目安	
	屋内(注)	屋外
会話を行う	着用を推奨する (十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可)	着用の必要はない
会話をほとんど行わない	着用の必要はない	着用の必要はない

▲マスク着用の考え方(厚労省ホームページ)

Q オーガニック給食

入は。
A 数量確保、品ぞろえ及び価格の課題とみどりの食料システム戦略の今後の動向を注視しながら、利用を検討していく。
(教育委員会事務局長)

地域の居場所づくりへの支援
Q 社会課題に取り組む市民、NPO、企業への支援は。
A 校区単位のまとまりができるよう「市民活動支援事業補助金」を設けている。校区内で活動されている方が、手を繋ぎ合い、課題を見出し、解決方法を考えていくことで、地域の繋がりが深まっていくものと理解している。
(企画部長)

工事完了検査
Q 粗雑工事の入札資格停止処分の経緯と対処は。
A 書類審査の中で、不可視箇所の資料で確認ができない部分があり、現地に於て破壊検査を実施したところ、設計図書規格値が満たされていない箇所が確認されたため、修補改造命令書を通じた。
(都市整備部長)



サンコーパレットパークの今後の運用計画は



市長

水飲み場や駐車場などの要望について、前向きに検討していく



若園五朗議員

新教育長の教育行政
Q 市の教育大綱及び教育の方針と重点についての考えは。

A 市教育大綱の「みずほを愛し みずほを誇り人づくり」を目指して教育行政を進める。また、教育振興基本計画を着実に実施すると共に、方針と重点にある外国語教育や命を大切に教育に力を入れる。
(教育長)

安心安全なまちづくり
Q 自治会協議会から消防活動の見直しについて、市長及び消防団長に要望書が提出されているが対応状況は。

A 消防団の処遇改善と共に、地域に根差した活動を目指していく。また、操法訓練重視から新たな試みとして、より実践的な消防団教育訓練を実施した。
(企画部長)

Q 今年度の犀川河川改修の計画は。また、ソフト事業における市の防災対策は。

A 県において、下犀川

橋付近で河道拡幅や護岸工事を実施している。
(調整監)

A 河川監視カメラにより、インターネットで岐阜県川の防災情報から水位が確認できるので活用を周知する。
(企画部長)



▲カメラで河川を監視(森地内)

Q 支援方策を含めた市としての空家対策は。

A 空家所有者等からの管理や活用相談等に対して、NPOと連携し、相談体制を強化している。また、特定空家に認定され除去する場合、費用補助が可能なため、所有者に制度の説明を行い、除去への指導を進めている。
(都市整備部長)



市は労使協定により労働組合が結成されているのか



総務部長

市において労働組合は結成されていない



松野藤四郎議員

Q 有給休暇の付与日数は20日であるが、取得状況と取得促進施策は。
A 一般行政職の年次有給休暇の平均取得日数は令和2年で11.5日であり、令和2年の全国平均、令和3年の県内平均を上回っており、取得率が低い状況とは言えないと認識している。また、毎年8月末に取得状況をまとめ、各所属長に通知し、最低有給取得日数である5日以上を確実に取得できるように促している。
Q 職員増員の考えは。
A 今後5年で15人の増員については定員管理計画をもって増員していく。
Q 職員が長時間勤務を行わなければならない理由は。
A それぞれの部署で事情があり、選挙、災害、工事の発注時期、税の申告・課税の時期、行事・イベントや緊急時の対応などが主な時間外勤務となる。
Q フレックスタイム勤務の導入は。

A フレックスタイム制度は多様で柔軟な働き方や充実したワーク・ライフ・バランスのための制度だが、導入に関してはデメリット面もあり、十分な検討が必要であると考えます。
Q 育児・介護休業法で対象となる勤務時間、時間外労働の実情は。
A どうしても時間外勤務が必要な場合には必要最低限度での命令ができるという認識である。
Q 市にノー残業デーはあるのか。
A 毎週水曜日と毎月の給料日をノー残業デーとしており、部長会議で管理職に周知し、部下職員にも徹底するように指導している。
Q 育児・介護休業法で対象となる勤務時間、時間外労働の実情は。



中小学校北門出入口道路付近の整備は



都市整備部長

道路拡幅は現状考えていないが、視認性が悪いため、隅切り部分の協力のお願いを考えている



杉原克巳議員

Q 北玄関付近の土地利用は。
A 中小学校校舎の大規模改修工事期間は現場事務所や資材置場等での使用を予定しており、工事後は周辺用地の利用を含めて総合的に検討していく。
Q 北玄関付近の土地利用は。
A 中小学校校舎の大規模改修工事期間は現場事務所や資材置場等での使用を予定しており、工事後は周辺用地の利用を含めて総合的に検討していく。
Q 農振地区の農地転用申請の受付回数変更の考えは。



▲中小学校北出入口へ通じる道路（市道9-1170号線）

Q 市長の企業誘致に対する取り組み姿勢は。
A 企業誘致は積極的に進めていきたい。企業へのトップセールスを行い、市の立地のよさ、利便性をPRしていきたい。
Q 農振地区の農地転用申請の受付回数変更の考えは。
A 県に相談したところ、体制を整えることができれば回数を増やせるとのことで、瑞穂市農業振興地域整備促進協議会にて各関係機関の委員に現状を説明し、意見を確認しながら進めていきたい。
Q 既進出企業のフォローと新規進出企業への戦略は。
A 既進出企業へは必要に応じて意向確認が必要だと考える。前回のアンケートから時間が経過しているため改めて行いたい。新規企業に対しては県や不動産関係者へ情報提供をしており、今後も引き続き行っていく。

企業誘致適地候補地の現状分析と推進策

(都市整備部長)

(都市整備部長)



原油価格・物価高騰対策は



市長

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を有効に活用していく



広瀬守克議員

Q 市民に向けた家計の一助となる支援策の考えは。

A 水道基本料金を一定期間免除することを考えている。

Q 事業者向け支援策の考えは。

A 事業者の業種を絞ることなく、燃料を大量に消費している事業者に対し、一定量を超過した部分について支援を行ってきたい。

(都市整備部長)

市制20周年記念事業

Q 市制20周年記念事業の進捗状況は。また、どのような内容でどの程度の規模か。

A プレイイベントとして10月に二日間にかけて清流長良川1000キロウォークを開催予定である。清流長良川沿いを歩くイベントであり、国道事務所や県土木事務所、関係自治体、所管する警察署や消防署などと調整を終え、コース案を決定したところである。現在は、大会スタッフなどの

運営体制について調整を行っており、参加者やボランティアスタッフを募集する予定である。

記念事業としては、人権・環境・平和をテーマにし、将来へ向けて次世代への発信として記念事業を展開していこうと考えている。そのうち、平和事業としては、8月に、平和の鐘を設置し打鐘式などを行う計画である。

(企画部長)

道の駅

Q サンコーパレットパークと市の大切な地域資源である中山道を活かした道の駅の設置について。

A 中山道まちづくり基本構想策定・民間活力導入可能性調査を行い、地方創生の拠点という視点から検討できないか考えていきたい。

(教育委員会事務局長)



新教育長として、コロナ禍、顕著化する学習意欲低下への対応は



教育長

児童・生徒がやってみたい、勉強の仕方が分かって良かったなどといえる授業を提供する



今木啓一郎議員

Q 英語教育推進を目的とした英検I B A実施の効果と成果は。

A 効果については、受験後に個人の成績表が届くため、生徒は3年間の成績を経年比較することができ、英語力の伸びを実感することができ。また、市内の中学3年生について、英検3級以上の力を持つ生徒の割合が7割から8割程度と成果も出てきている。

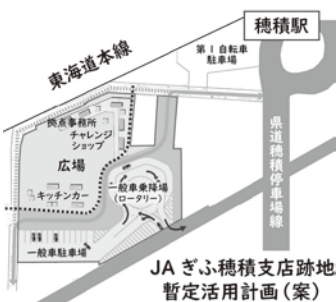
(教育長)

Q 保護者負担の給食費(賄材料代)に対する見解と物価高騰への対応は。

A 学校給食費は、学校給食法で保護者の負担と定められているため、保護者には一定の負担をいただくと必要があると考えている。また、物価高騰対応としては、国の交付金を活用し、保護者への負担軽減を図るよう進める。

(教育委員会事務局長)

駅周辺の駐車場整備
Q JAぎふ穂積支店跡地に新設予定の一般車乗



Q 穂積駅南口の渋滞緩和対策は進みつつあるが、北口についても、早期に目に見える対策を講じるべきでは。

(都市整備部長)

A 駅北口駅前広場についても交通環境等の改善に向けた対策が必要と考えている。駅前広場の敷地の大きさや形状等を考慮しながら、どのように改善をしていくべきか、現在検討をしているところである。

Q

サンコーパレットパークの今後について施設全体の管理体制は

A

教育委員会事務局長

維持・運営管理、イベントなど、総合的な管理を担う指定管理者を前提に検討する



森 清一議員



▲サンコーパレットパーク（遊具広場と芝生広場）

Q サンコーパレットパークの現状の課題に対し、教育委員会としてどのように検討、解決していくのか。

A オープン時から届いている意見・要望に対し、安全性や予算面などから費用対効果を精査したうえで対応していきたい。

Q 市長部局とどのように連携していくのか。

A 広場の管理はもとより、中山道沿線を含めた観光・文化など多岐にわたる事業の展開が不可欠と考えている。中山道まちづくり基本構想業務委

託における民間導入可能性調査の際には、関係部署への情報共有はもとより、各部署の持つ知識・知恵・経験を最大限に出し、事業を進めていく。

再編の考えは。

A 地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現のためにも校区活動は地域づくりに欠かせないものと認識しており、地域の実情に即し、行政と地域が協力して進めていくことが重要であると考えている。

今年度、補助制度の統合を含め、組織の在り方についてまちづくり基本条例推進会議や政策調整会議などの協議の場を設け、検討していく。

(副市長)



藤橋直樹議員

Q

ヤングケアラーの支援体制づくりについて市の考えは

A

健康福祉部長

発見から支援に繋げられる横断的な体制整備が肝要であると考えている



Q 市内のヤングケアラーの存在についてどの程度把握しているか。

談的な窓口の設置や、関係各課と連携した相談体制を確保していく。

A 学校サイドとしては学校生活や心のアンケート、懇談において心配な子供を把握し、関係課と連携している。福祉サイドとしては支援している世帯の状況からヤングケアラーと思われるケースの把握に努めている。

市の成果は。

A 学校の全職員でアンテナを張って見守っている。また、定期的にアンケートを行うことで把握し、学校体制で対応している。

A 7小学校区で行い、延べ1998名が参加した。若い世代の参加が少なかつたなど反省点があり、どのようなアプローチが有効であるか検討していきたい。(総務部長)

Q 市として今後どのようにサポートしていく考えか。

Q 質疑時間が短いなどの批判があるようだが、今後どのようにしていくか。

A 気軽に相談できる体制を整えることが必要であり、設立の機運が高い地区社会福祉協議会などが受皿となり、よろず相

A 市政運営の方針を明らかにし、丁寧な説明をすることが最良であると考えているが、多くの事業の説明をしなければならぬという側面もある。質疑に関しては説明会に限らず、ホームページやまちづくり提案箱などから質疑・意見をいただきたい。今回開催した説明会での反省を踏まえながら、来年度以降も引き続き開催していきたい。

(総務部長)



狭あい道路が、約5年前の全体の約60%からどの程度道路整備がされたか



総務部長

令和3年度末で生活道路の延長約491kmのうち幅員4.5m未満は約200km、全体の約42%となった

松野貴志議員



Q 市民の利便性を向上させるため、今後の道路整備の具体策は。

A 通学路など安全性を重視した路線や4メートル未満の狭あい道路、整備効果が高い地域を縦断する縦道の整備を優先に、地域バランスや他事業との整備時期を見ながら整備対象路線を計画していきたいと考えている。(都市整備部長)

Q 市道4-104号線はみずほバスや大型車両の擦れ違いが困難である。対応策は。

A 6mの道路拡幅計画があり、道路後退部分の用地買収を進めているところである。(都市整備部長)



▲車同士の擦れ違いも困難(市道4-104号線)

側溝グレーチングの改良 Q 市民の方にとって側溝蓋の開け閉めが重労働

となつてはいるが、軽量化タイプの側溝の使用の検討は。

A 側溝の新設や取り替えの際は、地元の方からの意見を踏まえ軽量タイプの側溝蓋の使用を検討していきたい。(都市整備部長)

Q グレーチングの盗難が増えていると聞くが、当市の被害状況は。また、マーク入りのグレーチングが盗難防止に有効と聞くが、導入の検討は。

A 過去には、令和元年1月に11枚、令和2年12月に4枚、令和3年2月には3か所において13枚の盗難が発生している。盗難防止策としては、自治体名などの金具を取り付けたり、特殊金具にてグレーチングを側溝本体に取り付けたり、指の入らない網目の細かいタイプの側溝にするといった策が考えられるが、今後新たな盗難対策など情報収集をしながら採用の検討をしていきたい。(都市整備部長)



J R穂積駅周辺整備事業の現状と取り組みは



調整監

地権者の同意を得ながら、市を事業主体とする土地区画整理事業により基盤整備を推進していく

森 健治議員



Q 6月3日の説明会について、参加者は何人だったか。また、どのような意見が出されたか。

A 参加者は、午前の部が121名、午後の部が105名だった。参加者からは、駅周辺の混雑状況の解消、交通弱者の安全確保、地域の生活環境への配慮、駅周辺事業の今後の進め方、立体駐車場整備による効率的な土地利用など様々な意見をいただいた。(調整監)

Q J R穂積駅周辺整備計画について、基本計画を策定し、実施計画策定までのスケジュールは。

A 基本的な方向性を示す基本計画は、現在、案を公開したうえでパブリックコメントを実施しており、今秋頃に策定する予定である。その後、実施計画を策定することになるが、まずは、事業に対する地権者や建物所有者との合意形成を図ることが必要不可欠であるため、駅の南北それぞれの地域で関係地権者による協議会を設立していきたいと考えている。(調整監)



▲JR穂積駅周辺の様子

Q この事業への市長の考えは。

A J R穂積駅周辺整備は、地方創生の重要な事業である。基本計画を公表し、協議会を立ち上げ、地権者の意見や考えに寄り添いながら、整備を進めていきたい。(市長)



市長の公約「学校給食費補助で保護者の負担軽減」を実現するつもりは



市長

支援が必要な子どもや、今回のような物価高騰が起きた場合などは、保護者の負担を軽減する



関谷守彦議員

インボイス制度（※）
Q シルバー人材センターの会員への影響は。



▲給食センターの調理の様子

Q 給食センターの設備更新は計画的に進めるべきではないか。
A 施設維持管理計画や保守点検結果等を踏まえながら、予算の範囲内で不具合を未然に防止できるように努める。
（教育委員会事務局長）
Q 幼稚園や保育所の給食でもアレルギー代替食を実施しては。
A 食物アレルギー対応給食は、調理場の施設整備、人員等をかんがみると現在の対応が精いっぱいな状況であるが、検討させていただきたい。
（教育委員会事務局長）

※インボイス（適格請求書）は売主が交付する書類で、発行するためには税務署に登録する必要がある。しかし、登録するとこれまでの免税事業者は、免税が適用されなくなる。

A シルバー人材センターの会員も適格請求書登録申請をすると、課税売上げに対して消費税の支払いが発生する。なお、消費税額については、消費税の申告後に金額が確定する。
（市民部長）
Q 会員などにしわ寄せがいかないよう、市としての支援策は。
A インボイス制度には、メリットとデメリットがあり、登録するかどうかは個人の判断によるところが大きいため、混乱することの無いよう、周知などをしっかりとしていきたい。
（市長）



今後どのようにICT教育を進めていくのか



教育長

ソフトウェアを充実させるとともに、教員の指導力を向上させていく



北川静男議員

Q 道徳教育に経験と専門的知識豊富な外部人材を活用しては。
A 学校生活の様子から子供の道徳性の実態を最もよく把握している担任が中心となって授業を進めることが望ましいと考えるが、授業によって、外部の方に自分の経験や思いを語ってもらうなど効果的に活用していきたい。
（教育長）
Q 特色ある学校づくりを行うことで、子供たちが瑞穂市に愛着を持つと考えるが、どうすべきと考えるか。
A 各学校において、地域の方や自然、文化と関わりながらふるさとについて学ぶ活動を充実させていく。また、中学校では、みずほ未来プロジェクトの事業を実施しており、今年度は、防災の視点で市について学び、地域の一員として地域を守るという意識を向上させる取り組みを行っている。
（教育長）
Q 教育現場の働き方改革の一環でタブレット

末の設定等を外部業者に委託できないか。
A 学校でできること、外部へ委託すべきことの見直しを図っていきたい。
（教育長）
Q 教員のタブレット端末の研修を定期的に実施しては。
A 各学校にICT活用推進担当がいるほか、さまざまな研修を通して教員のICT活用指導力の向上を目指している。
（教育長）
■**巣南中学校の制服変更**
Q 巣南中学校の制服変更の経緯は。
A 令和3年度に、PTA役員から制服の見直しについて要望があり、制服選定委員会を設置し、生徒や保護者から、また小学校3から6年生にもアンケートを実施し、意見を聞きながら進めてきた。
（教育長）





令和7年4月の公私連携による保育開始は予定通り行われるのか



教育委員会事務局長

今年度、用地購入後に説明会、秋頃に事業者の募集を行い予定通り開園できるよう進める



庄田昭人議員

Q 公私連携事業や牛牧小学校の駐車場問題についてどう考えるか。

A 公私連携事業については保育所整備計画に基づき、牛牧第1保育所の民間保育事業者による新設、生津小学校区への誘致を順次進めたい。駐車場については駐車場として最適な場所なので取得に向け今後とも努めていく。

Q 保育所整備、駐車場整備はスケジュール通り進んでいるのか。

A 保育所整備については地権者と話をしており、手続は関係機関との調整や地図訂正処理が終わったため土地取得を進める。駐車場整備については今年度、用地取得交渉の担当者が代わっていから地権者と会えていないが、引き続き取得に向け進める。

Q ヒマワリの種の配布はどのような計画か。

A 世界の平和を願う心

を育て、自然災害や防災を学ぶことで命の大切さや思いやりの心を育み、心豊かな明るい地域社会を目指すことを目的とする事業として世界平和・復興支援瑞穂市ひまわりプロジェクトを進めている。

Q 今後の展開は。

A プロジェクトの趣旨を理解した方が自主的に参加する形を取りたいと考えている。現在展開されている子供と関わる地域の活動を、まちづくり基本条例に基づき推進していきたい。

Q ヒマワリが枯れた後の廃棄は。

A 時期が終わり廃棄する場合は乾燥し容量を減らして市の可燃ごみ袋に入れ各地区のごみとして出し、大量廃棄の場合は西濃環境整備組合に持ち込めるため、環境課で手続きをお願いしたい。

(環境水道部長)

(企画部長)

議会活動日誌

5月

- 10日 議会運営委員会
議会広報編集委員会
- 12日 群馬県みどり市議会から行政視察（公園整備）意見交換会（瑞穂市文化協会）
意見交換・情報発信検討部会
- 17日 もとす広域連合議会（議会運営委員会）
- 18日 産業建設委員会協議会
- 19日 中濃十市議会議長会議（書面会議）
- 20日 総務委員会協議会
- 25日 全国市議会議長会定期総会（書面会議）
もとす広域連合議会臨時会
- 26日 議会運営委員会
全員協議会
議会基本条例推進特別委員会

6月

- 2日 令和4年第2回瑞穂市議会定例会（初日）
会派別議案説明会
- 9日 議会運営委員会
- 10日 令和4年第2回瑞穂市議会定例会（総括質疑）

- 14日 産業建設委員会・協議会
- 15日 文教厚生委員会・協議会
- 16日 総務委員会・協議会
- 20日 令和4年第2回瑞穂市議会定例会（一般質問）
議会運営委員会
- 21日 令和4年第2回瑞穂市議会定例会（一般質問）
全員協議会
議会基本条例推進特別委員会
- 24日 令和4年第2回瑞穂市議会定例会（最終日）
議会基本条例推進特別委員会
議会広報編集委員会
- 30日 議会運営委員会

7月

- 13日 岐阜県市議会議長会議
- 14日 議員定数調査検討部会
- 20日 議会広報編集委員会
NOMA行政管理講座（オンライン研修）
- 20～21日 市町村議会議員研修
- 21日 広聴・情報発信検討部会
- 29日 研修・予算決算検討部会

議会基本条例推進特別委員会 中間報告

委員会を補完する協議等の場として、令和3年3月16日に2つの部会が設置されました。これまでの各部会における活動と今後について報告します。

◆研修・予算決算検討部会

- 目的 ・議員研修の充実強化を図る
 ・予算及び決算の審議等のあり方を検討する
- 活動内容 ・議員研修 2回
 ・予算決算の特別委員会設置の検討会議 5回

結果と今後……

議員研修においては、市の財政状況等について理解を深めることができたほか、予算決算特別委員会を設置する方向で今後も検討する必要があるとの結論が導かれた。

◆意見交換・情報発信検討部会

- 目的 ・意見交換会の具体的な運営方法等を検討する
 ・情報技術の発達を踏まえた多様な広報手段の活用策を検討する
- 活動内容 ・コロナ禍における意見交換会の開催検討
 ・タブレット端末とYouTubeを使用した映像配信
 ・映像配信に必要な機材等について予算要求するためのヒアリングシートの内容検討

結果と今後……

文化協会との意見交換会を開催することができたほか、議会映像配信事業の予算化に至った。

意見交換・情報発信検討部会 文化協会との意見交換会開催

日時：令和4年5月12日
 午後1時30分から午後3時
 場所：市役所 穂積庁舎 議員会議室
 参加者：瑞穂市文化協会役員10名
 議員7名（意見交換・情報発信検討部会）



意見交換・情報発信検討部会では、コロナ禍における意見交換会の開催方法の検討のため、5月12日に瑞穂市文化協会との意見交換会を開催しました。

少人数・小規模での対面方式で開催する意見交換会の試行として、今回は瑞穂市文化協会の役員と部会員の計17名での意見交換会となりました。

テーマを「アフターコロナにおける瑞穂市文化振興について」とし、従来の意見交換会よりも少人数ながら、多くの意見をいただくことができました。

今回の意見交換会は、コロナ禍など人が多く集まらない状況での開催方法の検討ということでしたが、従来行っていたワークショップ形式との使い分けについての検討ができる、実りのある意見交換会となりました。

議会活性化の今とこれから

◆タブレット導入

すぐに資料共有！検索で過去も把握



全議員使用中

紙も印刷時間も省エネ！働き方改革進行中

◆YouTubeで公開 投票した議員を見よう！



▲スマホから

令和3年12月議会から、瑞穂市議会一般質問の様子を試験配信中。会議録が作成されるまでの約3か月間いつでも見られます。

本年度中に、本会議すべてを配信できるよう整備する予定です。

開かれた議会を目指して！検討部会設置 令和4年6月24日～

◆研修・予算決算検討部会

部会長：杉原克巳 副部会長：森清一

部会員：藤橋礼治 松野藤四郎 広瀬武雄 森健治 関谷守彦 北川静男

- 議員の資質向上のための研修
- 予算決算審議のあり方

◆広聴・情報発信検討部会

部会長：馬淵ひろし 副部会長：若原達夫

部会員：庄田昭人 棚橋敏明 今木啓一郎 松野貴志 藤橋直樹 広瀬守克

- 市民の声を反映した議会活動
- 市民に分かりやすく発信する方法

◆議員定数調査検討部会

部会長：広瀬武雄 副部会長：広瀬守克

部会員：藤橋礼治 杉原克巳 馬淵ひろし 関谷守彦 北川静男 若原達夫

- 市民の多様な意見等を反映できる議員定数

表紙撮影の裏側（ドローン撮影）

新しい広場を上空から

7月18日早朝、サンコーパレットパークの空にドローンが飛んだ。

9月号の議会だよりの表紙は、令和4年4月3日にオープンし、6月1日に芝生広場が開放された「サンコーパレットパークの空撮」です。

瑞穂市に撮影許可をいただき、市民団体「みずほドローンクラブ」に所属する巢南中に通う戸崎敬介さんに協力をいただき、サンコーパレットパークを空撮していただきました。

ドローンで安定して撮影できる天候を待って、撮影日程を変更しながらも、空撮していただきました。



瑞穂市を盛り上げたい！

市民団体「みずほドローンクラブ」は、令和4年6月に、ドローンの普及、操縦技術の習得、映像編集などを通して、瑞穂市を盛り上げるために設立された団体です。撮影は、代表の豊田英二さん、戸崎敬介さんに撮影いただきました。

戸崎さんは、豊田さんが総合型地域スポーツクラブ「Link-upみずほ」で開催したドローン教室で操縦技術を磨き、小学生の時にスポーツドローンカップ2018で優勝したこともあり、ドローン操縦技術はプロ並み。

「これからもドローンを使って、瑞穂市内の施設や風景を紹介し、瑞穂市を盛り上げたい。」と語ってくれました。

▶みずほドローンクラブへの問い合わせ

代表 豊田英二 090-3586-1048

令和4年第3回定例会日程（予定）

8月・9月

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	9/1	2	3
			本会議（初日・議案提案説明）			
4	5	6	7	8	9	10
			本会議（総括質疑・委員会付託）	産業建設委員会	文教厚生委員会	
11	12	13	14	15	16	17
	総務委員会	委員会予備日	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問予備日）	
18	19	20	21	22	23	24
				本会議（最終日・委員長報告・質疑・討論・採決）		
25	26	27	28	29	30	

※日程は、変更になる場合があります。HPをご覧ください。

編集後記

令和4年6月議会より、新しく議会広報編集委員会のメンバーが代わりました。これまで以上に「手に取って頂ける」「読みやすい」議会だよりを目指して紙面を改良して参ります。写真を多く取り入れ、目を引くタイトルなど議会での審議の内容を分かりやすく伝える市議会だよりに挑戦していきます。

議会に興味を持って頂けましたら、YouTubeにて議会映像の配信をご覧いただきたいと思います。また、市民の皆様の声や瑞穂市議会までお届け頂き、議会運営に反映させていく「広聴」にも力をいれていくべく議会内で検討しております。

議会だよりを通して、瑞穂市議会に注目して頂けるよう努力を重ねて参りますので、今後にご注目下さい。

議会広報編集委員会

委員長 馬淵ひろし

副委員長 関谷 守彦

委員 棚橋 敏明

委員 藤橋 直樹

